

自主防災訓練実施

6月21日（土）午前9時30分から主に組長・班長さんを対象とした自主防災訓練を実施しました。例年は2月に開催していましたが、2月の場合は1年任期の組長さんたちはすぐに退任となることから今年は6月に実施しました。

組長・班長さん達は、前橋市危機管理課員による「防災講話と地震体験車による地震体験」、その他の構成員は、防災有識者の菊池武夫さん（2丁目）による「わが家の耐震診断」を行いました。



ふれあいサロン開催

6月27日（金）に開催したふれあいサロンは、ノッポさんとクララさんによるトロンボーンとハーモニカのコンサートにクララさんによる切り絵の披露がありました。

お二人のコンサートは、今回3回目でしたが、しっとりとした心温まるトークと演奏に癒されました。

次回の7月25日は、駐在所員による「交通事故被害防止と加害防止、防犯講話」です。大勢の皆様の参加をお待ちしています。



回覧

大利根

ミニ広報紙

第22号

令和7年7月号

発行
大利根町公民館
（生涯学習）

電話
253-0949

編集責任者
岡 正雄
（自治会長）

ご意見・ご要望
をお寄せください。

女子ソフトバレーボール大会

6月15日（日）東中学校体育館において女子ソフトバレーボール大会が開催されました。結果は、決勝トーナメントには、進めませんでした。が、例年と異なり、若い選手の参加が多く、来年へ向けて大きな期待が膨らみました。



ポールウォーキング講習会

6月25日（水）大利根町公民館において、生涯学習推進委員会（委員長 高木とみ江）主催によるポールウォーキング講習会を開催しました。

総勢28人の方が参加しましたが、9月からどなたも参加できるポールウォーキングクラブとして開催いたします。

多くの皆様の参加をお待ちしております。



6月29日の上毛新聞1面に大利根町自治会の活動が紹介されました。

THE JOMO SHINBUN

2025年(令和7年) 6月29日(日曜日) (日)

基盤の目状に整備された区画に一戸建て住宅が並ぶ前橋市大利根町。県企業局が初めて手がけた大規模住宅団地だ。小学校、公園、公民館が配置され、商店が軒を連ねる「ショッピングセンター」もある。

初代自治会長の山本六十二さんは1969年、自治会結成を呼びかける案内状にこう記した。「縁あって郷を同じくして、ここを永住の地と定めました上は、一致団結、相互協力により生活の理想郷を築きたいものです」

各地から移り住んだ人たちは理想の街を目指した。婦人会長を務める吉田知江さん(82)は「暮らしやすく、住民がお互い

Reぐんま 人口減の先に

⑥ 前橋市大利根町

支え合う大規模団地



チーム大利根のメンバーと岡さん(左から2人目)。自治会ホームページの運用などを担う＝大利根町公民館

HP作成、チームの絆

を大事にしているところがいい」と気に入っている。

団地は「まちびらき」と同時に主に子育て世代が入居する。年月の経過で子ども世代は転出し、人口減少と高齢化が一般

的な市街地と比べて一斉に進行する課題がある。大利根も最初の分譲から半世紀がたち高齢化が進む。自治会は2023年10月に市の生活支援体制整備事業として「町社協チーム大利根」を設立した。

事務所の自治会役員ら

をほじめ、組長、婦人会、民生児童委員、保健推進員ら総勢70人ほど。介護予防活動や困ったときの助け合い、祭りといった催しの企画などに取り組み。

設立の音頭を取ったのは同年春に自治会長となった岡正雄さん(77)だ。



「地域で支え合うにも自治会役員は高齢で、担い手がみつからない。何とかできないか」と考えを巡らせていた。

チーム設立前に、幸運な出会いがあった。見守りなど高齢者支援に取り組みNPO法人「ソリリッサ」が公民館隣に拠点

自治会ホームページ(HP)の立ち上げをサポートし、高齢者がHPを見られるようスマホの使い方を教室を開いた。法人には医療福祉に関心をもち若者が登録しており、自治会の業務委託で草むしりなどのご用聞きサービスを提供した。

萩原さんは「住民が地域のことを考えて支え合っている。人と人がつながっていき過程が見える」と協力している。本年度のご用聞きは休止中だが、連携は続く。

自治会HPは地域の情報満載で更新も早い。

運用担当の一人、公民館長の藤井雄治さん(70)は「不審者情報など防犯関係は一番大事」という。

民生委員の女性らは、HPがすぐ表示できるような住民のスマホを設定してあげている。「回覧板と違って後で読み返せるし、イベントの写真も載せれば喜んでくれる。HPを通じてみんなが町の一部分になった」と話す。

チーム大利根は青いTシャツを作った。デザインしたのはソリリッサのメンバーである美術大学の学生。運動会や防災訓練といった催しではユニホーム代わりに配る。岡さんは「生活支援は子ども世代にも広げる。Tシャツをみんなが着る日が理想」と目を細める。

(前原久美代 随時掲載)

メモ 大利根団地は前橋市の上新田、下新田、後家、箱田、稲荷新田の5町の一部にまたがる農地に造成された。1967年に第1回分譲が行われ、69年に大利根町が誕生した。拠点である公民館は自治会が運営。建設に当たり当時の各世帯が3万円を拠出した。88年5月末に3562人だった町人口は、今年4月末で2621人に減少。人口に対する65歳以上の割合(今年3月

半世紀超え高齢化

末時点)は1丁目34.22%、2丁目41.82%で、市全体の30.33%を上回っている。

町民によれば寺社はなく、歴史が古いものといえば中央公園にある67年3月建立の団地造成記念碑という。碑は当時の神田坤六知事の名で「この団地はこの土地を耕作していた人々の善意により造成することができた」と刻まれている。



6月29日

日曜日 仏滅

発行所(〒371-8666) 前橋市古町1-5
上毛新聞
(総合)027-254-9
(編集)027-254-9
(広告)027-254-9
(販売)027-254-3
(事業)027-254-9
©上毛新聞社 202